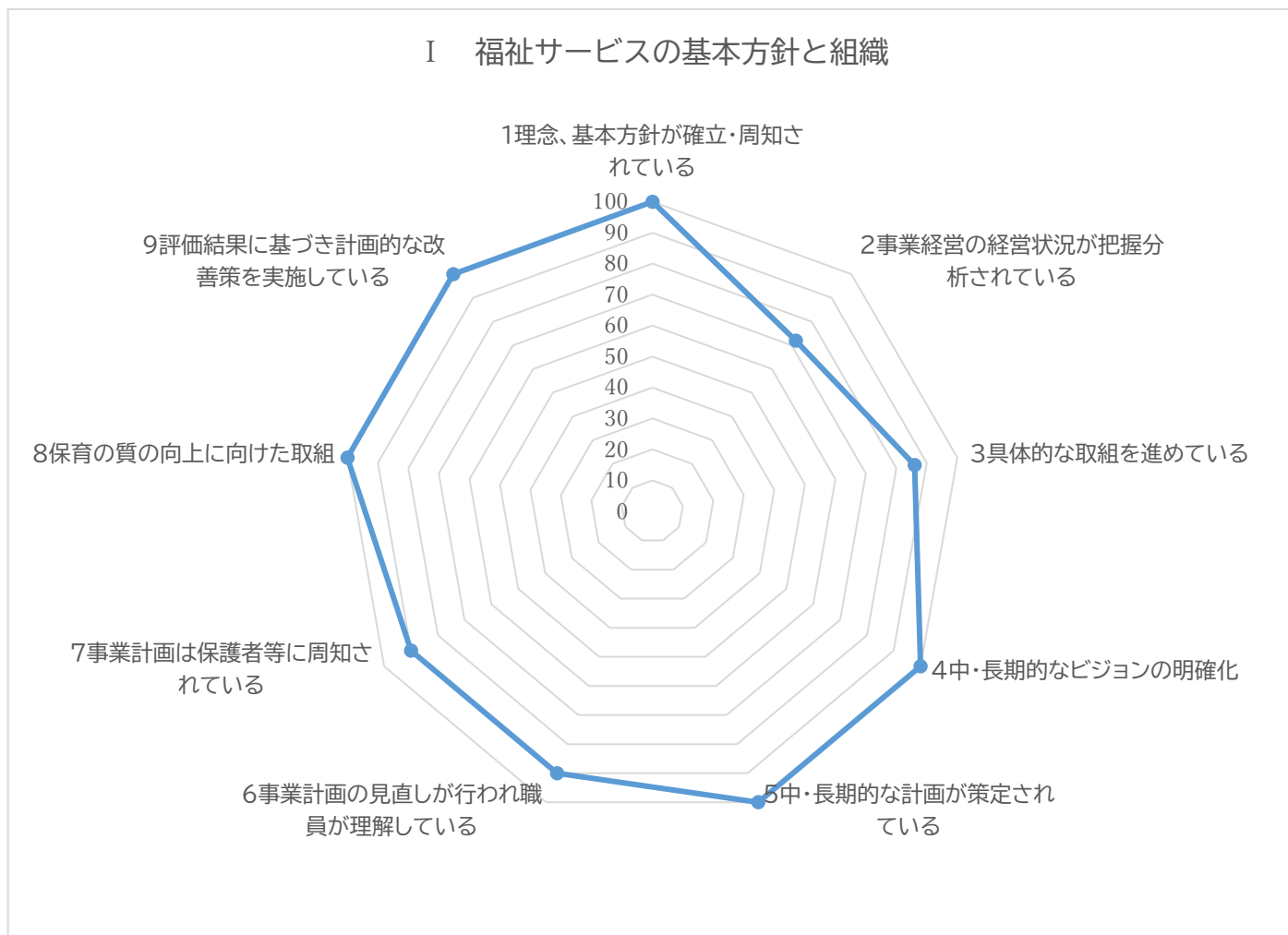


I 福祉サービスの基本方針と組織



○高評価内容

自己評価の継続により、法人・保育園の使命や役割を反映した理念と、これに基づく保育に関する基本方針が明文化されていることが、職員・保護者への周知が十分に図られているとの評価だった。評価結果にもとづき、園として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。

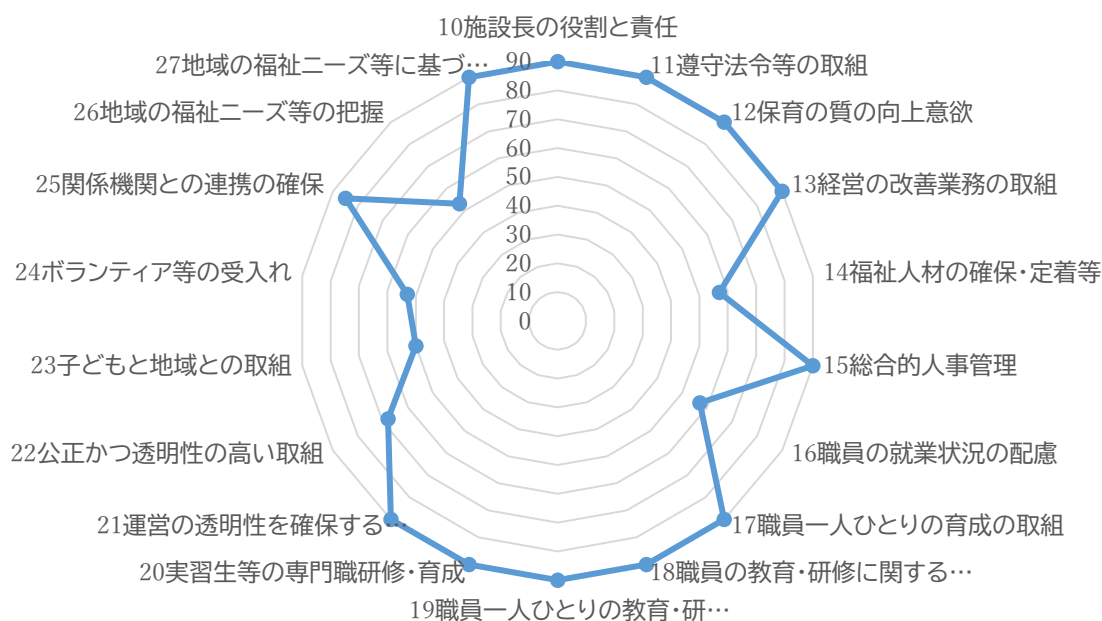
★分析後取り組みが必要な項目

2:事業経営状況の把握分析が不十分

コメント

<出生数の減少、転入転出などの状況を自治体から得、今後の経営について分析していくと共に、運営する上での施設経費分析などを行っている旨を職員に周知する。>

## II 組織の運営管理



### ○高評価内容

職員の就業状況について、面接での聞き取り等で意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

業務の実効性を高める取り組みとして、業務改善に努めた。

### ★分析後取り組みが必要な項目

14:福祉人材の確保・定着

16:職員の就業状況に配慮されている

#### コメント

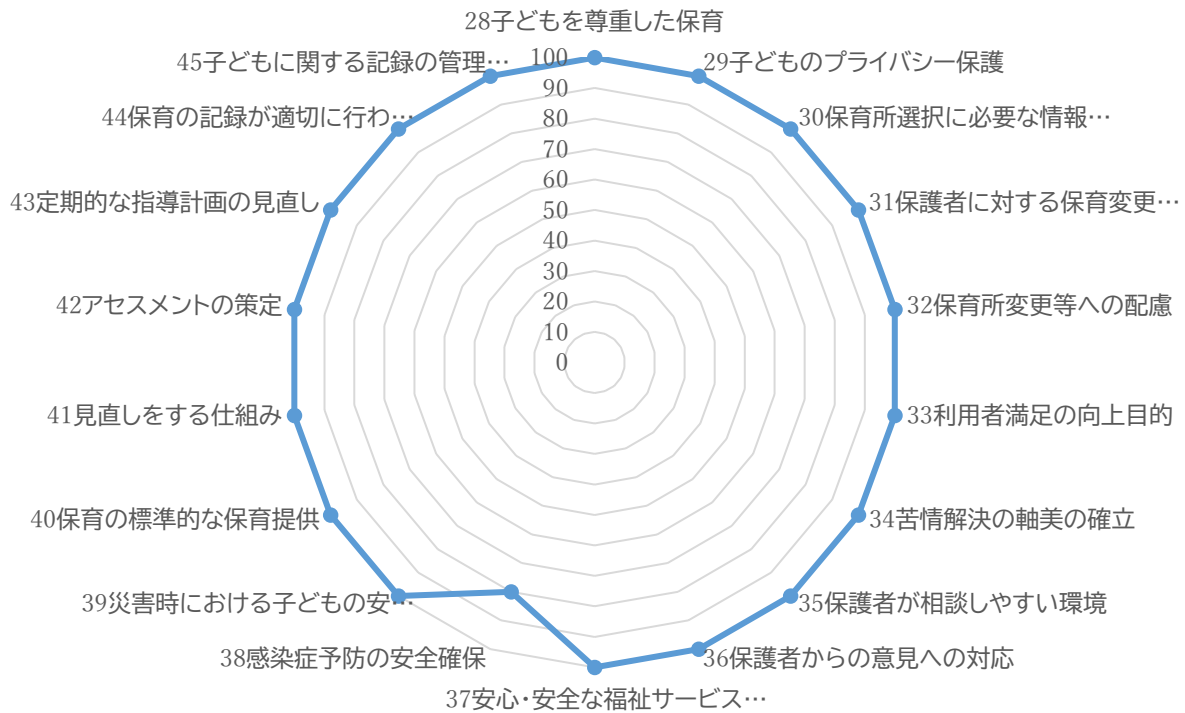
<福祉人材の確保・定着において保育園が目標とする保育の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しているが取り組みが十分でないと感じている。児童に対する保育士数は満たしているものの、昨今は個性豊かな子ども達が多く、一人一人へ対応しなければならない場面がとても多い。また、突発的な職員の不足にも対応できるような環境が求められているため、社会全体が保育士不足ではあるが職員が働きやすい環境になるよう更に体制を整えていく。>

23:子どもと地域との取り組みが十分ではない

#### コメント

<子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけが十分でないと感じている為、地域との繋がりが持てるようコロナ渦前に行われていた行事等にも改めて目を向け再度構築できるようにし、更にはこの事が子育て支援に繋がるよう取り組んでいく。>

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施



#### ○高評価内容

子どもを尊重した保育について共通理解をもつために日常的に行われているミーティングや検討会議を大切に意見交換して進めたる事が出来た。また、保護者からの相談や意見を積極的に把握し迅速に対応していることも評価に繋がったと感じる。

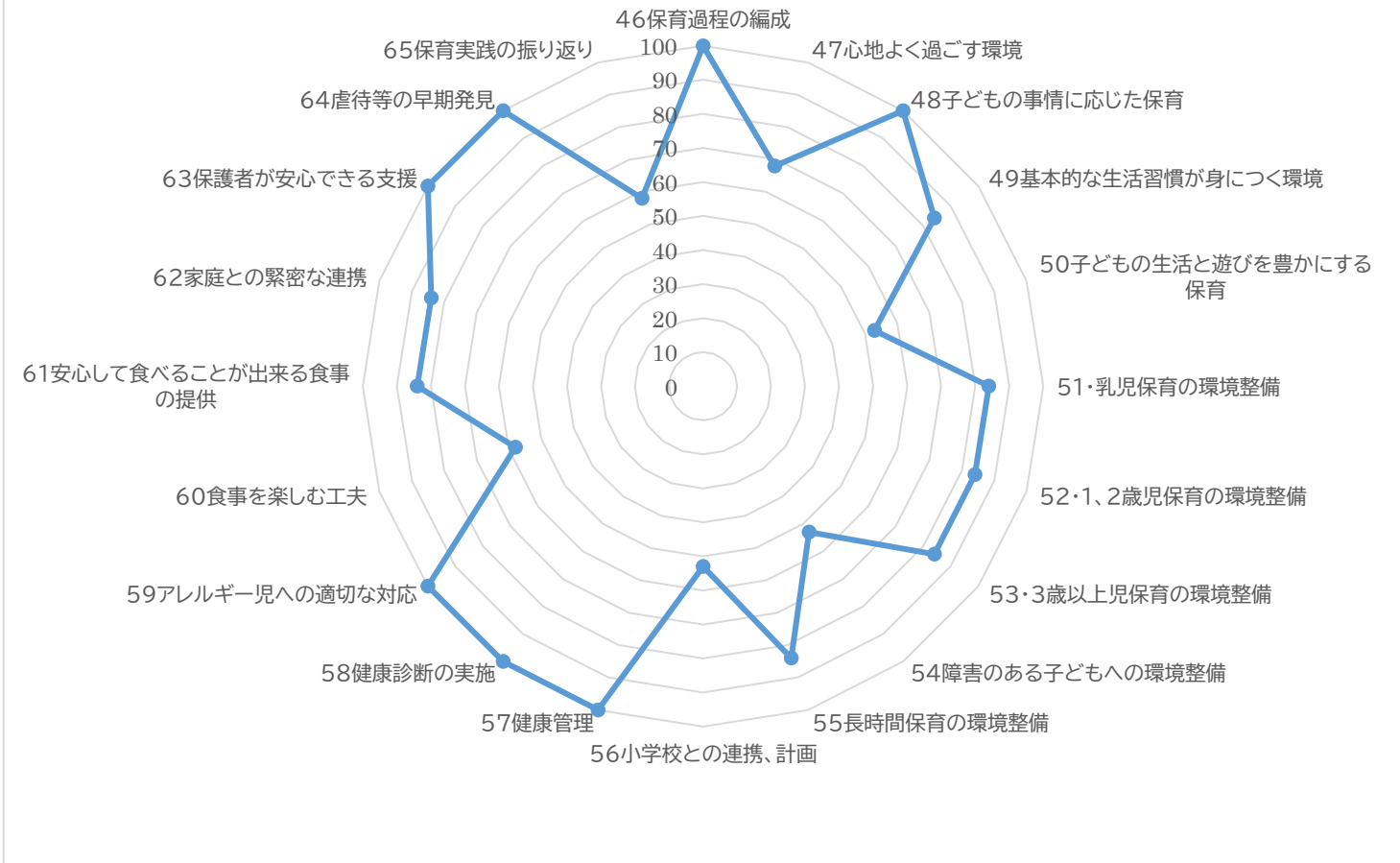
#### ★分析後取り組みが必要な項目

##### 38:感染症予防対策の安全確保

##### コメント

<長時間にわたり集団で生活する園では、一人一人の子どもと集団全体の両方について、健康と安全を確保する必要がある為、保育園での感染症予防に加え保護者との共通理解が必要となる。保護者との共通理解を深め、感染症手帳や保健だよりを通して、保育園の感染予防策を発信していく。>

## IV 保育内容



### ○高評価内容

保護者支援が必要な家庭が多くなってきている中、その場その場で変化する子どもたちの心の状態に応じ、一人一人を受容し保育する場面が多くなっていると感じている。

### ★分析後取り組みが必要な項目

50:子どもの生活と遊びを豊かにする保育

☐コメント

<環境を通じて行う保育、養護と教育の一体的展開の中では生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、職員が思うような環境には達していなかった為、今後細かい点について職員と話し合いながら改善していく。>

54:障がいのある子どもへの環境整備

☐コメント

<療育機関との連携は深まっており、個別相談や療育訪問支援などを実施している。職員が更に障がいの理解や特別な支援方法の習得を望んでいると考えられる事から、研修等への参加を進めていく。>

60:食事を楽しむことができるような工夫が十分行えなかった。

☐コメント

<感染症対策を重視したことで黙食などを勧め、楽しい食事はできなかった。今後は食育の重点である楽しい食事につながる工夫を進める。>

